

令和8年度 福岡市自殺対策協議会議事録

開催日時： 令和8年7月28日（火） 14：00～15：30

開催場所： あいれふ7階 第2研修室

出席者： 出席委員 24名 欠席委員 3名 事務局 13名

傍聴： なし

会議次第および議事要旨

1 開 会

2 所長挨拶

3 委員等紹介

4 議事

会長－福岡県立大学 小嶋秀幹委員、副会長－福岡市薬剤師会 清水敦委員

議題1 福岡市の自殺統計について

「人口動態統計」および「警察統計」から、自殺者数の推移等を報告。全国的に自殺者数は減少しているが、小中高校生の自殺者数は増加。福岡市でも、若者の自殺者の割合は増加傾向にある。

議題2 福岡市自殺対策総合計画の取り組みについて（紙面報告）

議題3 こども・若者の自殺の現状について

（事務局）近年、こども・若者の自殺者数が増加傾向にある。課題認識を共有し、ご意見ご提案をいただき、次期福岡市自殺対策総合計画の改定につなげたい。

（委員）「若者」といっても、高校生、大学生、就職した20歳代等社会状況が変わるため、自殺未遂者の背景も随分と違う。

（委員）AI 相談はいつでもできるが、本当に相談すべき先かどうか、相談できる人を普段からみつけておくことが大切。

（委員）学校では、日頃からこどもたちの様子を観察し、アンケートも実施している。気になるこどもは担任が話を聴き、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにつなぐなどしている。

（委員）働く人のメンタルヘルス対策として、研修を充実させ、気づく体制と仕組みを作り、自殺を予防できればと考えている。

（委員）AI に相談してから相談に来る人もいるが、最後は人間に相談をする。しかるべきところに相談するということを、本人が頭においておくことが大事。

（委員）自殺が多いのは、やはり50歳代で中高年の自殺が終わった話ではない。全体を抑えた対策が必要。

（委員）いろいろと対策が行われて自殺者数が減少している。総合的な自殺対策の継続が必要。

5 閉会